職業実践専門課程等の基本情報について

学校名										
大阪アミューズメン 専門学校		平成28年4月	1日 森	憲司	(住所) フ		西中島3丁目12番1	9号		
設置者名		設立認可年月	月日 代表	表者名	\	06-6885-6010	所在地			
学校法人吉田	学園	平成28年2月	2日 吉日	田東吾		532-0011 大阪府大阪市淀川区	西中島3丁目12番1	9号		
分野	100	定課程名	認定学科	名	(電話) C	06-6885-6010 士認定年度	高度専門士認定	年度 脂	職業実践専	門課程認定年度
工業		業専門課程	ゲーム・アニメ30			29(2017)年度	-	1/2		6(2024)年度
学科の目的	コンピュータ	グラフィックスの知識	を学び、CGデザイナー	·/CGアーティス	トとしてゲー	ム・アニメ・映像業界で	活躍できる知識と技能	を修得する。	0	
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	ゲーム・アニ	≟メ・映像業界へ就職で	するために重要な作品	制作の実践に	力点を置き、	CGデザイナー/CGア-	ーティストとして業界へ	就職するため	の指導を行	īò.
修業年限	昼夜		な総授業時数又は総 立数	講義		演習	実習	実験	ŧ	実技
2		※単位時間、単位いずれ	1,875 単位時間	45	単位時間	1,680 単位時間	150 単位時間	0 単	位時間	0 単位時間
年		かに記入	単位		単位	単位	単位	単	位	単位
生徒総定員	生徒実	員(A) 留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生割合	合(B/A)	中退率				
80 人	57 /		3 人	0	%	9 %				
	■卒業者数 ■就職希望	女(C) : 型者数(D) :	33 26		}					
	■就職者数	女 (E) :	23		\(\)					
	■地元就職 ■就職率(13 88		<u>人</u> %					
		- 占める地元就職者σ			%					
	■卒業者に	占める就職者の割合	(E/C)							
	■進学者数	<u>t</u>	70 0		<u>%</u> 人					
就職等の状況	■その他		事に就いた者:2名、	计删许新级丝						
	病気療養∷		争に続いた台:2石、	奶啡油 别嵇 称	[:0石、					
	() 5	。在唐玄紫老	・ に関する令和7年5月	1 日時占の棲蓋	B)					
	(令和 ■ 主な就 贈	6 中及平采年 3.先、業界等	に関する事和子午5月	1日中小小の旧判	K)					
	(令和6年度至									
	ジェムドロッ	プ株式会社、株式	会社オルカ、株式会社							
		・ギャ 旭ファン・ナーゼ								
	株式会社も	zガ札幌スタジオ、株 式会社キーウエスト	⊧式会社ジーン、株式 ・、株式会社スタジオト						コノー、f末ュ	
	株式会社セ テムズ、株		、株式会社スタジオト						コン一、1杯コ	
第三者による	株式会社セ テムズ、株 ■民間の評	式会社キーウェスト	、株式会社スタジオト :者評価:			Studio R 株式会社、				
第三者による 学校評価	株式会社セテムズ、株 ■民間の評 ※有の場合、	式会社キーウエスト 平価機関等から第三	、株式会社スタジオト :者評価:			Studio R 株式会社、 無 評	有限会社オレンジな。 		コン一、fk i	
学校評価	株式会社セテムズ、株 ■民間の評 ※有の場合、	式会社キーウエスト 平価機関等から第三 例えば以下について任	、株式会社スタジオト :者評価:	∼リガー、株式 		Studio R 株式会社、 無 評	有限会社オレンジなる		コン一、fk i	
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社セテムズ、株 ■民間の記 ※有の場合、	式会社キーウエスト 平価機関等から第三 例えば以下について任	・、株式会社スタジオト :者評価: 意記載	∼リガー、株式 		Studio R 株式会社、 無 評	有限会社オレンジな。 			
学校評価 当該学科の	株式会社セテムズ、株 ■民間の言、 ※有の場合、 https://ww	式会社キーウエスト P価機関等から第三 例えば以下について任 P価団体: w.amg.ac.jp/cg-des	・、株式会社スタジオト :者評価: 意記載	∼リガー、株式 		Studio R 株式会社、 無 評	有限会社オレンジな。 			
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社セテムズ、株 ■民間の言、 ※有の場合、 https://ww	式会社キーウエスト F価機関等から第三 例えば以下について任 P価団体: w.amg.ac.jp/cg-des 時間による算定)	・、株式会社スタジオト :者評価: 意記載	∼リガー、株式 		Studio R 株式会社、 無 評	有限会社オレンジな。 	<u>"</u>		
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社セテムズ、株 ■民間の言、 ※有の場合、 https://ww	式会社キーウエスト P価機関等から第三 例えば以下について任 P価団体: w.amg.ac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数	-、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/	〜リガー、株式 受審年月:	会社ACE、\$	Studio R 株式会社、 無 評	有限会社オレンジな。 	1,875 単	1位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社セテムズ、株 ■民間の言、 ※有の場合、 https://ww	式会社キーウエスト P価機関等から第三 例えば以下について任 M面団体: wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 うち企業等	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載iign/jeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyjeyje	マッカー、株式 ・ 受審年月: ・ 実技の授業	会社ACE、\$	Studio R 株式会社、 無 評	有限会社オレンジな。 	<u>ビ</u> 1,875 単 0 単	位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社セテムズ、株 ■民間の言、 ※有の場合、 https://ww	式会社キーウエスト P価機関等から第三 例えば以下について任 M面団体: wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 うち企業等	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ pと連携した実験・実習 pと連携した演習の授髪	マッカー、株式 ・ 受審年月: ・ 実技の授業	会社ACE、\$	Studio R 株式会社、 無 評	有限会社オレンジな。 	<u>ビ</u> 1,875 単 0 単	4.位時間 4.位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社セテムズ、株 ■民間の言、 ※有の場合、 https://ww	式会社キーウエスト 評価機関等から第三 例えば以下について任 P価団体: w.amg.ac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/	リガー、株式受審年月:	会社ACE、S s s 時数	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	デ 1,875 単 0 単 180 単 1,875 単	1位時間 1位時間 1位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社セテムズ、株 ■民間の言、 ※有の場合、 https://ww	式会社キーウエスト 評価機関等から第三 例えば以下について任 P価団体: w.amg.ac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ pと連携した実験・実習 pと連携した演習の授髪	リガー、株式受審年月:雪・実技の授業業時数こ必修の実験・	実習・実技(Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単	4.位時間 4.位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	株式会社セテムズ、株 ■民間の言、 ※有の場合、 https://ww	式会社キーウエスト 評価機関等から第三 例えば以下について任 Wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修持	・、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 身と連携した実験・実習 身と連携した演習の授製 要業時数 うち企業等と連携した	〜リガー、株式 受審年月: 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	会社ACE、S	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単	4位時間 4位時間 4位時間 4位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状況	株式会社セテムズ、株 ■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位に ■	式会社キーウエスト 評価機関等から第三 例えば以下について任 Wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修持	・、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授製 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	〜リガー、株式 受審年月: 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	会社ACE、S	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単	4位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した	株式会社 テムズ、株 ■民間の診 ※有の場合、 消 https://ww (A:単位	式会社キーウエスト 評価機関等から第三 例えば以下について任 Wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修持	・、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授製 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	〜リガー、株式 受審年月: 習・実技の授業 業時数 ○必修の実験・ ○必修の演習の	会社ACE、S	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単	4位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	株式会社 テムズ、株 ■ 民間の計 ※有の場合、 消 https://ww (A:単位 (B:単位	式会社キーウエスト 評価機関等から第三 例えば以下について任 Wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企業 数による算定)	・、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授奨 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	マップの担当を表示しています。 マップの担当 ・ 実技の授業 業時数 ・ と必修の実験・ ・ との という でんしょう こうしょう こうしょう こうしょう はいい はい	会社ACE、S 実際・実技(授業時数)	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単 0 単	4位時間 位時間 位時間 位時間 4位時間 4位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	株式会社 テムズ、株 ■ 民間の計 ※有の場合、 消 https://ww (A:単位 (B:単位	式会社キーウエスト 評価機関等から第三 例えば以下について任 Wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企業 数による算定) 総単位数 うち企業等	・、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授奨 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 等と連携した実験・実習	マリガー、株式 受審年月: ・実技の授業 業時数 ・必修の実験・ ・と必修の演習の ・レシップの 哲 ・実技の単位	会社ACE、S 実際・実技(授業時数)	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単	4位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	株式会社 テムズ、株 ■ 民間の計 ※有の場合、 消 https://ww (A:単位 (B:単位	式会社キーウエスト F価機関等から第三 例えば以下について任 Wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 「うち企業等 うち必修打 (うち企業 数による算定) 数による算定) なりませる数 である。	・、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授委 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携したインター 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の単位	マリガー、株式 受審年月: ・実技の授業 業時数 ・必修の実験・ ・と必修の演習の ・レシップの 哲 ・実技の単位	会社ACE、S 実際・実技(授業時数)	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単 0 単 単	4.位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	株式会社 テムズ、株 ■ 民間の計 ※有の場合、 消 https://ww (A:単位 (B:単位	式会社キーウエスト 評価機関等から第三 例えば以下について任 Wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修打 (うち企業 数による算定) 総単位数 うち企業等	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授委 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 文等と連携したインター 等と連携した演習の単位 位数	マリガー、株式 受審年月: ・実技の授業 業時数 ・必修の実験・ ・と必修の演習の ・ンシップの 持 ・実技の単位 立数	会社ACE、S 埃時数 実習・実技(授業時数)	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単 単 単 単	社位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	株式会社 テムズ、株 ■ 民間の計 ※有の場合、 消 https://ww (A:単位 (B:単位	式会社キーウエスト F価機関等から第三 例えば以下について任 Wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時数 「うち企業等 うち必修打 (うち企業 数による算定) 数による算定) なりませる数 である。	・、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 iign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授契 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した までと連携した までと連携した までと連携した まである。	マリガー、株式 受審年月: 雪・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの 担 コ立数 こ必修の実験・	会社ACE、S 実育・実技の 授業時数 変数 実習・実技の 変数 変数	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単 単 単 単 単	社位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位時間 位 位 位 日 位 日 位 日 日 位 日 日 日 位 日 日 日 日 日	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	株式会社 テムズ、株 ■ 民間の計 ※有の場合、 消 https://ww (A:単位 (B:単位	式会社キーウエスト F価機関等から第三 例えば以下について任 W.amg.ac.jp/cg-des 時間による第定) 総授業時数 「うち企業等 うち必修打 (うち企業 数による第定) の	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授奨 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 、 等と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	マリガー、株式 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・ ・と必修の演習の ・シシップの ・と必修の実験・ ・と必修の実験・ ・と必修の実験・ ・と必修の実験・ ・と必修の実験・	会社ACE、S 埃特数 実習・実技(授業時数) 数 実習・実技(数 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単 単 単 単 単 単	1位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位時間 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	株式会社 テムズ、株 ■ 民間の計 ※有の場合、 消 https://ww (A:単位 (B:単位	式会社キーウエスト F価機関等から第三 例えば以下について任 W.amg.ac.jp/cg-des 時間による第定) 総授業時数 「うち企業等 うち必修打 (うち企業 数による第定) の	・、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 iign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授契 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した までと連携した までと連携した までと連携した まである。	マリガー、株式 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・ ・と必修の演習の ・シシップの ・と必修の実験・ ・と必修の実験・ ・と必修の実験・ ・と必修の実験・ ・と必修の実験・	会社ACE、S 埃特数 実習・実技(授業時数) 数 実習・実技(数 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単 単 単 単 単 単	社位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位時間 位 位 位 日 位 日 位 日 日 位 日 日 日 位 日 日 日 日 日	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	株式会社 テムズ、株 ■ 民間の計 ※有の場合、 消 https://ww (A:単位 (B:単位	式会社キーウエスト F価機関等から第三 例えば以下について任 W.amg.ac.jp/cg-des 時間による第定) 総授業時数 「うち企業等 うち必修打 (うち企業 数による第定) の	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授奨 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 、 等と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	マリガー、株式 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・ ・と必修の演習の ・シシップの ・と必修の実験・ ・と必修の実験・ ・と必修の実験・ ・と必修の実験・ ・と必修の実験・	会社ACE、S 埃特数 実習・実技(授業時数) 数 実習・実技(数 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単 単 単 単 単 単	1位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位時間 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	株式会社株 テムズ、株 ■ 展間の割 ※ 有の場合 (A:単位 (B:単位 (B:単位	式会社キーウェスト F価機関等から第三 例えば以下にで任 Wamgac.jp/cgーdes 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修形 数による算定) (うち企業等 うち企必修形 のうち企業等 は (うち企業等 は (うち企業 を)	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 iign/ 夢と連携した実験・実置 多と連携した演習の授多 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した をと連携した演習の単位 を をと連携した演習の単位 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	マリガー、株式 受審年月: ・実技の授業 非時数 ・必修の実験・の で必修の実験・ の さいというでする。 ・変技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・変数を必修の実験・ ・でというでする。	会社ACE、S 埃特数 実習・実技(授業時数) 数 実習・実技(数 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジな。 	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単 単 単 単 単 単	1位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位時間 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	株式会社 株 テムズ 、	式会社キーウンスト 平価機関等から第三 例えば以下に Wamgac.jp/cgーdes 時間による算定) 総授業時数 うち企業等等 うち必修技 の方ち企業等等 がある の表する限と の表する限と のの表する のを発生 のの修業年	・、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 iign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授契 要業時数 うち企業等と連携した 支等と連携した不変の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した など連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	マリガー、株式 受審年月: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会社ACE、S 時数 実習・実技(授業時数) (数 単位数 単位数	Studio R 株式会社、 無 評価 ホー	有限会社オレンジなら	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単 単 単 単 単 単	1位時間 1位時間 1位時間 1位時間 1位時間 1位時間 1位時間 1位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	株式会社 株 テムズ 、	式会社キーウエスト F価機関等から第三 例えば以下について任 W.amg.ac.jp/cg-des 時間による 3 第 定 管機 実 時	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授委 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 変等と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携した で数 うち企業等と連携した で数 であった で、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	マリガー、株式 受審年月: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会社ACE、S 時数 実習・実技(授業時数) (数 単位数 単位数	Studio R 株式会社、無	有限会社オレンジなら	1,875 単 180 単 180 単 単 単 単 単 単 単	1位時間 1位時間 1位時間 1位時間 1位時間 1位時間 1位時間 1位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	株式会社株 テムズ、 ■ 展間の割合 ※ 有の場合 (A : 単位 (B : 単位 (I : #:4)	式会社キーウンスト 平価機関等から第三 例えば以下に Wamgac.jp/cgーdes 時間による算定) 総授業時数 うち企業等等 うち必修技 の方ち企業等等 がある の表する限と の表する限と のの表する のを発生 のの修業年	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実置 等と連携した演習の授製 要素時数 うち企業等と連携した ま等と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した	マリガー、株式 受審年月: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会社ACE、S ・ ・ ・ ・ ・ を を を を を を を を を を を を を	Studio R 株式会社、無	有限会社オレンジな。	1,875 単 180 単 180 単 単 単 単 単 単 単	1 de per esta de la competita della competita della competita della competita della competita	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれかに記入)	株式会社株 テムズ、 ■ 限間の割合 ※ 有	式会社キーウェスト 平価機関等から第三 例えば以下について任 例のでは、 Wamgac.jp/cg-des 時間による算定) 総授業時 うち企業等 うち必修拐 (うち企ま 故 は 4 位数 うちを企業 うちを必修する では 5 を 2 を 1 での 2 を 2 を 3 を 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マリガー、株式 受審年月: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会社ACE、S 供助数 実習・実技 授業時数 2素時数 2数 単位数 (専修学材	無無 無 の授業時数 の単位数	有限会社オレンジな。	1,875 単 0 単 180 単 1,875 単 0 単 単 単 単 単 単 単 単	1 (dept)	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状かに記入) な実置、(A、記入) を実置を表現である。 を実置を表現である。 な実質の属性である。 を表現である。 を表現できまれている。 を表現でする。 を表現できまれている。 を表現できまれてきまれていますできまれていまれていますでする。 を表現でする。 を表現でする。 をまれている。 を表現できまれている。 を表現できまれている。 を	株式会社株 テムズ、 ■ 限間の割合 ※ 有の場合 (A : 単位位 (B : 単位位 (B : 単位位	式会社キーウンスト 平価機関等から第三体 側点ば以下について任 側のでは、 Wamgac.jp/cgーdes 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修技 のおります年度 のおりますを表す。 「うち企業等を対するでは、 ののでは、	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 詩と連携した実験・実置 身と連携した演習の授業 要素時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 変楽はいたインター を連携した演習の単位 は位数 うち企業等と連携した ま等と連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した な変響をと連携した な変響をと連携した なる金業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した なる金業等と連携した なる金業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを	マリガー、株式 受審年月: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会社ACE、S 集時数 実習・実技 授業時数 対数 実単位数 (専修学や	の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 交設置基準第41条第1項	有限会社オレンジな。	1,875 単 1,875 単 1,875 単 1,875 単 180 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	1. due e e e e e e e e e e e e e e e e e e	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、ENJ がれかに記入)	株式会社株 テムズ、 ■ 限間の割合 ※ 有の場合 (A : 単位位 1	式会社キーウンスト 平価機関等から第三体 一体 一体 一体 一体 一体 一体 一体	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 詩と連携した実験・実置 身と連携した演習の授業 要素時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 変楽はいたインター を連携した演習の単位 は位数 うち企業等と連携した ま等と連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した な変響をと連携した な変響をと連携した なる金業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した なる金業等と連携した なる金業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを	マリガー、株式 受審年月: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会社ACE、S 実持な 実持な 大きに を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を学せる。 ので、またい。 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 を設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	有限会社オレンジなる 画結果を掲載した 一ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	1,875 単単 180 単単 単単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	4 deptil 4 deptil 4 deptil 5 deptil 6 d	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状かに記入) な実置、(A、記入) を実置を表現である。 を実置を表現である。 な実質の属性である。 を表現である。 を表現できまれている。 を表現でする。 を表現できまれている。 を表現できまれてきまれていますできまれていまれていますでする。 を表現でする。 を表現でする。 をまれている。 を表現できまれている。 を表現できまれている。 を	株式会社株 テムズ (式会社キーウウスト 平価機関等について任 ・ wamgac.jp/cgーdes ・ はのでは、	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 詩と連携した実験・実置 身と連携した演習の授業 要素時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 変楽はいたインター を連携した演習の単位 は位数 うち企業等と連携した ま等と連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した な変響をと連携した な変響をと連携した なる金業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した なる金業等と連携した なる金業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを	マリガー、株式 受審年月: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会社ACE、S 実持な 実持な 大きに を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を学せる。 ので、またい。 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 を設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	有限会社オレンジなる 画結果を掲載した 一ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	1,875 単単 180 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	4 de	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状かに記入) な実置、(A、記入) を実置を表現である。 を実置を表現である。 な実質の属性である。 を表現である。 を表現できまれている。 を表現でする。 を表現できまれている。 を表現できまれてきまれていますできまれていまれていますでする。 を表現でする。 を表現でする。 をまれている。 を表現できまれている。 を表現できまれている。 を	株式会社株 テムズ (式会社キーウウスト 平価機関等について任 ・ wamgac.jp/cgーdes ・ はのでは、	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 詩と連携した実験・実置 身と連携した演習の授業 要素時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 変楽はいたインター を連携した演習の単位 は位数 うち企業等と連携した ま等と連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した 変楽をと連携した な変響をと連携した な変響をと連携した なる金業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した なる金業等と連携した なる金業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まる企業等と連携した まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを まるを	マリガー、株式 受審年月: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会社ACE、S 実持な 実持な 大きに を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を学せる。 ので、またい。 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 を設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	有限会社オレンジなる 画結果を掲載した 一ムページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	1,875 単単 180 単単 単単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	4 de	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状かに記入) な実置、(A、記入) を実置を表現である。 を実置を表現である。 な実質の属性である。 を表現である。 を表現できまれている。 を表現でする。 を表現できまれている。 を表現できまれてきまれていますできまれていまれていますでする。 を表現でする。 を表現でする。 をまれている。 を表現できまれている。 を表現できまれている。 を	株式会社株 テムズ、 ■ (A : 単位 (B : 単位 (B : # 位 (B : # d	式会社キーウンスト 平価機関等から第三体 例えば以下について任 W.amg.ac.jp/cg-des 時間による多第 「うち企業等 「うち企業等等 」うち必修科 「うち企からなど者 「うちな必修り 「うちなならななど、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ign/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授契 受業時数 うち企業等と連携した うちであって に で に で に と に と に と に と に と に と に と に と	マリガー、株式 要審年月: 事・実技の授業 ・実技の授業 ・変を多のを多の実験・での方式の単位 ・変を多のである。 ・変を多のである。 ・変を多のである。 ・変を多のである。 ・変を多いでは、表演の単位 ・変を多いできる。 ・変ををきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきる	会社ACE、8 実持 実習・実技(授業時数) (専修学校 (専修学校 (専修学校	会議 (本)	有限会社オレンジなる	1,875 単単 180 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	4 de	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状かに記入) な実置、(A、記入) を実置を表現である。 を実置を表現である。 な実質の属性である。 を表現である。 を表現できまれている。 を表現でする。 を表現できまれている。 を表現できまれてきまれていますできまれていまれていますでする。 を表現でする。 を表現でする。 をまれている。 を表現できまれている。 を表現できまれている。 を	株式会社株 テムズ (式会社キーウンスト 平価機関等から第三体 例えば以下について任 W.amg.ac.jp/cg-des 時間による多第 「うち企業等 「うち企業等等 」うち必修科 「うち企からなど者 「うちな必修り 「うちなならななど、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには	、株式会社スタジオト 者評価: 意記載 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マリガー、株式 要審年月: 事・実技の授業 ・実技の授業 ・変を多のを多の実験・での方式の単位 ・変を多のである。 ・変を多のである。 ・変を多のである。 ・変を多のである。 ・変を多いでは、表演の単位 ・変を多いできる。 ・変ををきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきるをきる	会社ACE、8 実持 実習・実技(授業時数) (専修学校 (専修学校 (専修学校	会議 (本)	有限会社オレンジなる	1,875 単単 180 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	1 de per esta de la competita del competita de la competita del competita del competita del co	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ゲーム・アニメ3DCG学科は、技術の進展と応用範囲の拡大・多様化が進むCG業界に対応するため、企業と連携して、所属する現役のCGアーティストなどを講師として招聘し、最新の技術や制作手法を教育課程に反映することを基本方針としている。具体的には、最新のCGソフトウェアや3Dモデリングツール、アニメーション技術に対応したカリキュラムを導入し、プラットフォームや制作ジャンルの多様化に合わせて教育課程を随時更新している。また、リアルタイムレンダリングや、AIなどの先進技術を活用したCG制作技術の習得を支援する環境を整備していく方針である。

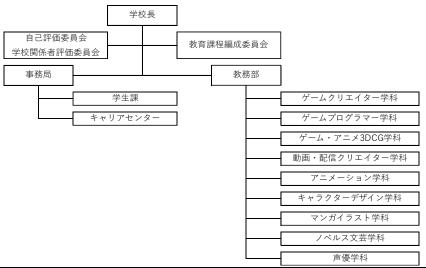
(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会では、現役のゲーム・アニメ・CG業界で開発を行う専門家を委員として招聘し、業界との緊密な連携を図ることで、最新の業界状況を反映した実践的な教育方針を策定している。これにより、即戦力としてゲーム・アニメ・CG業界で活躍できる人材の育成を目指している。

「教育課程編成委員会」は「自己評価委員会」「学校関係者評価委員会」と共に、学校長が統括をする。教育課程に関する 意思決定については、以下の通りと定める。

- ・教育課程編成委員会は学科ごとに選出・委託された企業等委員と、業界団体等委員、教務部長・各学科担当者で構成される。
- ・委員会で各学科のカリキュラムに対し産業界側から出た評価と提言を意見を参考に、教務部で教育課程への反映が検討される。
- 最終的に学校長の許可を経て教育課程を決定する。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
香川悟	一般社団法人デジタルエンターテインメントクリ エイター協会 理事	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	1
生島久也	一般社団法人マナベル	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	1
島田健人	株式会社クロスプラススタジオ 開発部 部長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
高橋沙紀	株式会社亀 3Dデザイナー	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
時本伸一	株式会社BURG 映像制作部 総括主任	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
中野裕紀	株式会社EMTスクエアード 作画部 部長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
武山紀彌	有限会社メルヘンズ 取締役社長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
松田昌子	株式会社U-NEXT アニメ・ブック事業本部マンガ編集事業長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
木尾寿久	株式会社エレファンテ	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
北川隆一	劇団しし座 代表/関西俳優協議会 顧問	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3

内海賢太郎	株式会社賢プロダクション 代表取締役	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	3
森憲司	大阪アミューズメントメディア専門学校 学校長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	_
下間正巳	大阪アミューズメントメディア専門学校 副校長		_
中島正貴	大阪アミューズメントメディア専門学校 教務部 長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	1
脇功一	大阪アミューズメントメディア専門学校 教務副 部長	令和7年3月1日~ 令和9年3月31日まで(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月28日 17:30~19:00

第2回 令和6年12月4日 17:30~19:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

エフェクトデザイン教育におけるNukeやHoudiniなどの高度なツールのカリキュラム導入についての意見を伺った。

○導入の評価と方向性

ノードベースのエフェクト制作経験は、ゲーム・映像業界で間違いなく活きるため、一度触れておくことは有益である。ただ し、ゲーム業界では内製ツールの使用が多いことも留意すべきである。

○カリキュラム上の課題

2年という短い期間で教えるには優先度を考慮した判断が必要である。エフェクト専門志望は少数(40人中2~3人)にとどまっている。

○教育体制の重要性

ツールの導入に際し、学生をより良い結果へ導くことができる指導教員の質が極めて重要であり、学生の自信に繋がる。現状の教員でエフェクト授業を充実させることが学生にとって最善である可能性もある。

今後の活用方針

ノードベースの制作経験の重要性は認識しつつ、限られた時間の中で専門性の高いツールの導入を検討する際は、指導体制の確立とカリキュラム全体の優先度を慎重に判断する必要がある。まずは希望者が利用できる環境の整備を視野に入れ、検討を進める。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実社会で即戦力となる人材へと成長するため、企業等と連携した実習・演習を積極的に実施し、対象とする業界・職業における実践的な能力育成を目指す。これにより、業界の標準技術や最新技術に触れ、実践的なスキルを習得することで、卒業後の円滑な社会への移行を支援するとともに、業界が求める人材育成に貢献する。

企業との連携は、企業からの講師や指導担当者の派遣、共同指導、企業提供の教材を用いた授業など、多様な形式で実施する。実施に際しては、本校の学科担当者が企業の担当者と連携して行う。

実施後は、学科担当者および教育課程編成委員会において内容を検証し、改善に努め、業界標準の価値基準を維持・更 新する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本学科では、企業から派遣された講師の監修指導を受け、学科担当者と企業が連携して実習・演習にあたる。

①実習・演習内容の決定

企業から派遣された講師が、業界基準として求められる内容を監修し、学科担当者と連携して実習・演習のゴールを設定す

②実習・演習実施

実習・演習は教室内で実施される。企業から派遣された講師が継続的にアドバイスを提供しながら、学科担当者と連携して 実習・演習を進める。

③評価

学修成果の発表を行い、企業から派遣された講師が作品の講評および評価を行う。

企業から派遣された講師の評価を元に、学科担当者が出席率など総合的な成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

	TI A MILE TO THE TOTAL OF	-	
科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
CGアニメーション基礎	1. 【校内】企業等から	ゲーム企業のCGデザイナーとして 必要とされるモーション(演技)スキ ルの向上を図ると共に、ゲーム モーションの技術を習得する講 座。	株式会社88アニメーション
コンポジット応用	1.【佼内】正耒寺かり	映像業界への就職には欠かせないコンポジットスキルやゲーム業界では当たり前となっているゲームエンジンの知識向上を図る。	有限会社スタジオオーズ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学校法人吉田学園教員研修規程第1条に定める通り、企業等と連携して、専攻分野における実務に関する知識、技術及び 技能並びに、指導力等の修得・向上を目的とし、専攻分野における実務について研修を行うことで、最新の業界の事情や ニーズを把握し、教育に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

コンピュータエンターテインメントデベロッパーズカンファレ 研修名:

ンス2024(CEDEC2024)

-般社団法人コン

連携企業等: ピュータエンターテイン

メント協会(CESA)

ゲームクリエイター学 科、ゲームプログラ

期間: 令和6年8月21日~23日

対象:マー学科、ゲーム・ア ニメ3DCG学科所属の

専任教員

最新の開発手法について、ゲーム業界主要各社の開発者のセッションを受講 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

「LGBTQの理解と対象学生への対応」 研修名:

認定NPO法人 虹色ダ

連携企業等: イバーシティ

令和6年7月5日 対象: 全教職員 期間:

> ・LGBTQの基礎知識と理解 ・対象となる学生への対応

・大阪市内のLGBTQセンター(プライドセンター)紹介

•質疑応答

内容

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

ンス2025(CEDEC2025)

研修名: コンピュータエンターテインメントデベロッパーズカンファレ

ー般社団法人コン 連携企業等: ピュータエンターテイン

理携正未寺: ロューダエノダー

メント協会(CESA)

ゲームクリエイター学 科、ゲームプログラ

対象:マー学科、ゲーム・アニメ3DCG学科所属の

専任教員

期間: 令和7年7月22日~24日

内容 最新の開発手法について、ゲーム業界主要各社の開発者のセッションを受講

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「ハラスメントの防止~感性をブラッシュアップしよう~」 連携企業等: 大阪府人権擁護士

期間: 令和7年5月9日 対象: 全教職員

1 共通基盤づくり

・アクティビティ「これはハラスメントになるの?」(参加者の価値観を共有する)

※3つのケースに登場する行為者が持つ思い込みについて考える。

内容 2 意見交換

・アクティビティ「これはハラスメントになるの?」において、グループで意見交換をした内容を全体共有して

価値観の共有を図る。

⇒ケースごとに解説とふりかえりを行う。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価の結果を学園の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営の改善を行う。学校評価委員会で得られた評価結果を参考に、学校長以下、事務局、教務部による学校 運営施策策定を行う。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	1-1-1.理念・目的・育成人材像は定められているか 1-1-2.学校における職業教育の特色は何か 1-1-3.社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
(2)学校運営	2-1-1.目的等に沿った運営方針が策定されているか 2-2-1.教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	3-1-1.学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか 3-1-2.キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや 教育方法の工夫・開発などが実施されているか 3-1-3.関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行なわれているか 3-1-4.関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか
(4)学修成果	4-1-1.就職率の向上が図られているか 4-2-1.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 4-2-2.卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
(5)学生支援	5-1-1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか 5-2-1.学生に対する経済的な支援体制は整備されているか 5-2-2.退学率の低減が図られているか 5-3-1.保護者と適切に連携しているか

(6)教育環境		
(7)学生の受入れ募集 7-1-2.学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか7-1-3.学生納付金は妥当なものとなっているか8-1-1.中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか8-2-1.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか8-3-1.財務情報公開の体制整備はできているか8-3-1.財務情報公開の体制整備はできているか9-1-1.自己評価の実施と問題点の改善を行っているか9-1-2.自己評価結果を公開しているか (9)法令等の遵守 9-1-1.自己評価の実施と問題点の改善を行っているか9-1-2.自己評価結果を公開しているか (10)社会貢献・地域貢献 10-1-1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか11-1-1.留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか11-1-2.留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	(6)教育環境	ているか 6-1-2.学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十 分な教育体制を整備しているか
(8)財務	(7)学生の受入れ募集	7-1-2.学生募集活動において、資格取得·就職状況等の情報は正確 に伝えられているか
(9)法令等の遵守 9-1-2.自己評価結果を公開しているか 10-1-1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 11-1-1.留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか 11-1-2.留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	(8)財務	8-2-1.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 8-3-1.財8務について会計監査が適正に行われているか
(10) 社会貢献・地域貢献 ているか 11-1-1.留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか 11-1-2.留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	(9)法令等の遵守	
ているか (11-1-2.留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等 がとられているか	(10)社会貢献·地域貢献	
11-1-3.留学生の学習・生活指導等について学内の適切な体制が整理 されているか 	(11)国際交流	ているか 11-1-2.留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか 11-1-3.留学生の学習・生活指導等について学内の適切な体制が整理

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会にて、本校の教育運営活動を「専修学校における学校評価ガイドライン」の1項目ごとの課題などに ついて意見を交換している。

■留学生の受け入れと教育環境整備の状況

委員より留学生受け入れ体制の充実を求める意見をいただいた。

交流イベントを開催し、留学生および日本人学生との関係構築を支援していく方針。

今後は就職活動や進路選択の支援が課題となるため、教職員は指導体制を強化し、必要な知識と対応力を身につけてい く。

■学生のメンタルケアに関する取り組みの概要

委員より、学生のメンタルケア体制を強化すべきとの意見をいただいた。

「保健衛生課」を設置し、人権擁護専門をアドバイザーに迎えて、学生のメンタルケア体制を強化した。 アドバイザーからの専門的な助言を通じ、教職員側にも学びと意識向上の場を設ける方針。

■学校教育法改正への対応と単位制度の整備

大学への編入や他専門学校との連携にも関わるため、内部制度の整備と運用ルールの明確化する。 これを来年度から令和8年度にかけての重点課題として準備を進めていく方針。

■授業評価アンケートの実施と今後の方針

委員より、学生アンケートの必要性と実施すべきとの意見をいただいた。

授業ごとの状況把握と改善を目的とした科目別授業評価アンケートを新たに実施した。

アンケートを定例化し、毎年同時期に実施することで、継続的な教育改善に役立てていく方針。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
赤松加枝子	大阪放送株式会社 コンテンツプランニング本	令和6年4月1日~令和8年3	企業等委
	部 プランニング部長	月31日(2年)	員
藤井美樹	株式会社 KINSHA 界グラフィックススタジオ	令和7年4月1日~令和9年3	企業等委
	人事課	月31日(2年)	員
山光咲良	株式会社 アクロス エンタテインメント 所属声優	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	卒業生
辻井安喜	学校法人 浪工学園 星翔高等学校 常務理事·校長	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	高校関係
益満俊彦	株式会社共立メンテナンス 寮事業本部 関西支店 支店長	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	地域住民
小林俊一	株式会社アミューズメントメディア総合学院	令和7年4月1日~令和9年3	企業等委
	AMG出版 出版プロデューサー	月31日(2年)	員
鶴圭太	ジャパントータルエンターテインメント株式会社	令和7年4月1日~令和9年3	企業等委
	取締役	月31日(2年)	員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・)広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.amg.ac.jp/syllabus/2025/pdf/e_school.pdf?250701

公表時期: 令和7年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

))

))

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

文部科学省の公開する「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、本校が設定する 項目についてホームページ 上で広く一般に公開するものとする。 連携および協力する企業等の学校関係者に対してもホームページ上で公開している 情報を提供するとともに、学校関係者評価委員会や 教育課程編成委員会等の委員会を通じて本校の学校運営の状況に ついて情報を提供するものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(2) 専门子校にありる情報提供寺への収組に	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
	校長名、所在地、学校の沿革、歴史、特色
	シラバス、進級・卒業の要件等
	教職員数(職名別)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、就職支援等への取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動
	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取り扱い、活用できる経済的支援措置の内容
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・)広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.amg.ac.jp/about/ 項目(1)

https://www.amg.ac.jp/syllabus/項目(2)、(3)、(8)、(9)

https://www.amg.ac.jp/careercenter/ 項目(4)

https://www.amg.ac.jp/school-infomattion/項目(5)、(6)

https://www.amg.ac.jp/seido/ 項目(7)口

公表時期: 令和7年6月30日

授業科目等の概要

				課程 ゲーム・	アニメ3DCG学科)											
		分類	į						授	業プ		場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技			専任		企業等との連携
1	0				UIデザイナーとして必要なUIデザインの基礎知識を向上させる講座。UIデザインの構造理解と共に、誰もが理解できるUIの表現技術の向上を身に付ける。	1 · 通	120	4		0		0			0	
2	0			3DCG基礎	ゲーム企業のグラフィッカーとして必要とされるスキル、3Dモデリングスキルの向上を図ると共に、Mayaのオペレーションを通して、3Dモデリングの概念を学ぶ。		180	6		0		0			0	
3	0			CGアニメー ション基礎	ゲーム企業のCGデザイナーとして必要とされるモーション(演技)スキルの向上を図ると共に、ゲームモーションの技術を修得する講座。	1 • 通	120	4		0		0			0	0
4	0			CGイラスト 基礎	ゲーム企業のアーティストとして必要とされるPhotoshopスキルの向上を図ると共に、Photoshopのオペレーションを通して2D技術の概念を学ぶ。		120	4		0		0			0	
5	0			デッサン基礎	C G デザイナーに必要なデザイン的な基礎 画力を向上させる為の講座。観察眼・形状 把握・質感把握のスキルを身に付け、絵的 な表現技術の向上を身に付ける。		120	4		0		0			0	
6	0			背景モデル基 礎	CGデザイナーとして必要とされるスキル、3Dモデリングスキルの向上を図ると共に、Mayaのオペレーションを通して3Dモデリングの概念を学ぶ。		120	4		0		0			0	
7	0			キャラクター デザイン	CGデザイナーとして必要なキャラクターデザインの基礎画力を向上させる講座。人間の構造理解と共に、魅力的なキャラクターの表現技術の向上を身に付ける。		60	2		0		0		0		
8	0			キャラクター	3Dモデリングスキルの向上を図ると共に、 スカルプティングのスキルを身に付け、 キャラクターデザイナーとしての3Dモデリ ングの概念を学ぶ。	1 • 通	120	4		0		0			0	
9	0			アンリアルエ	CGクリエイターとして欠かせないエフェクトの概念と作成をさせる講座。エフェクトデザインの構造理解と共に、エフェクトの表現技術の向上を身に付ける。	1 • 通	60	2		0		0			0	
10	0			共同制作	グラフィックスキル(モデル作成・モーション・エフェクト・UI・工程管理等)の向上を図ると共に、2Dゲーム制作技術を修得する。	1 • 通	45	3	0			0		0		
11	0			キャラクター モデル応用	3Dモデリングスキルの向上を図ると共に、スカルプティングのスキルを身に付け、 キャラクターデザイナーとしての3Dモデリングの概念を学ぶ。	进	90	3		0		0			0	
12	0			C G 映 像 演 出•編集	CGクリエイターとして必要とされるスキル、3Dモデリングスキルの向上を図ると共に、映像制作のスキルを身に付け、CGでの映像の概念を学ぶ。	4	60	4	0			0			0	

		1		CGクリエイターに必要なデザイン的な基礎	<u> </u>	I	I			I I				
13	0			両もたウトナルスカの護広 短窓明 取出	2	90	3	0		0			0	
14	0			3Dモデリングスキルの向上を図ると共に、ライティング等のスキルを身に付け、背景デザイナーとしての3Dモデリングの概念を学ぶ。		90	3	0		0			0	
15	0		CGアニメー ション応用	CGクリエイターとして必要とされるモーション(演技)スキル、の向上を図ると共に、CGモーションの技術を修得する講座。		90	3	0		0			0	
16	0		UI デザイン応 用	CGクリエイターとして必要なUIデザインの応用知識を向上させる講座。UIデザインの構造理解と共に、誰もが理解できるUIの表現技術の向上を身に付ける。		60	2	0		0			0	
17	0			CGクリエイターとして欠かせないエフェクトの概念と作成をさせる講座。エフェクトデザインの構造理解と共に、エフェクトの表現技術の向上を身に付ける。	- -	60	1	0		0			0	
18	0		3DCG応用	CG企業のCGデザイナーとして必要とされるスキル、3Dモデリングスキルの向上を図ると共に、Mayaを通して他の3Dツールでも通用する3Dモデリングの概念を学ぶ。	1 2	60	1	0		0			0	
19	0		CGイラスト 応用	CGクリエイターとして必要とされるスキル、アートワークスキルの向上を図る講座。		90	2	0		0			0	
20	0			映像業界への就職には欠かせないコンホジットスキルやゲーム業界では当たり前となっているゲームエンジンの知識向上を図る。		60	2	0		0			0	0
21	0		卒業制作	映像制作スキル(モデル作成・モーション・エフェクト・工程管理等・演出)の向上を図ると共に、映像制作技術を修得する。	2] 通	60	1		0	0		0		
		合	計	21	杉	目		62	(1875)	単位	과 (単位	時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 卒業該当学年の学年末に卒業認定会議を開催し、62単位以上の取得が	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 1年次:全科目必修(37単位、1065単位時間)	1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。